

認知症対応型サービス事業開設者研修 公開講座

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることのできる地域包括ケアシステムを構築する上で、地域密着型サービスの役割が益々重要になってきています。また、今後も増大する認知症高齢者への適切なケアを提供するためにも、質の高い地域密着型サービスの運営が欠かせません。今回の認知症介護サービス事業開設者研修では、全国で先駆的な取り組みをされている方も講師にお招きいたしました。制度、施策から具体的な実践まで幅広くご講演いただきます。

大変貴重な機会ですので、多数ご参加いただけるよう公開講座としてご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2018年 **9月24日** (月) 9:30 – 16:20 (受付9:00～)

会場

京都テルサ 中会議室

裏面申込欄に記入のうえ
お申込下さい

定員

70名 (申込〆切 9/11)

参加費

無料

9:30-9:40	開会挨拶	京都地域密着型サービス事業所協議会 会長 山田 尋志
9:40-10:10	講義『地域包括ケアにおける地域密着型サービスの役割』	京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課 担当課長 和田 幸司 氏
10:20-11:50	講義『認知症高齢者の基本的理解』	京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 講師 松岡 照之 氏
<昼休憩>		
12:50-14:30	講義『認知症ケアのあり方と地域密着型サービス①』	高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ 総合施設長 宮島 渡 氏
14:40-15:10	講義『認知症ケアのあり方と地域密着型サービス②』 —実践事例の報告を通して学ぶ—	実践報告 十四軒町の家・Welcomeやまの家 助言者 宮島 渡 氏
15:20-16:20	講義『家族の理解・高齢者との関係の理解』	認知症の人と家族の会京都府支部 代表 荒牧 敦子 氏

お問い合わせ・お申込み

京都地域密着型サービス事業所協議会事務局

TEL 075-354-8706 FAX 075-354-8770

<講師プロフィール>

松岡 照之氏（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学 講師）

平成16年卒業。京都府立医科大学大学院 修了。医学博士。精神保健指定医。日本精神神経学会・日本老年精神医学会 専門医・指導医。日本老年精神医学会・近畿精神神経学会 評議員。日本精神神経学会・日本老年精神医学会・国際老年精神医学会・日本神経精神医学会 所属。

専門領域：老年精神医学

研究：老年期幻覚・妄想に関する研究、神経心理検査に関する研究

宮島 渡氏 高齢者総合福祉施設 アザレアンさなだ総合施設長 日本社会事業大学専門職大学院 特任教授

1981年大学卒業後、都内金融機関に就職 1987年茨城県内特別養護老人ホーム生活相談員に転職

1991年長野県真田町に計画していた特別養護老人ホームの建設に着手 1993年特別養護老人ホームアザレアンさなだ開設・施設長に就任 2008年社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事に就任、現在に至る

全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 代表

NPO法人長野県宅老所グループホーム連絡会 副理事長

NPO法人介護人材キャリア開発機構理事、

一般社団法人全国認知症介護指導者ネットワーク副代表なども兼務

荒牧 敦子氏（認知症の人と家族の会京都府支部 代表）

昭和60年～平成17年にかけて義母・実父・夫の認知症介護を経験、「認知症の人と家族の会」電話相談員を経て、平成19年より「公益社団法人認知症の人と家族の会 京都府支部」代表に就任、現在に至る。

自身が暮らす京丹波町において、NPO法人「クローバー・サービス」理事長として「認知症カフェ」を運営する等、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりを目指している。

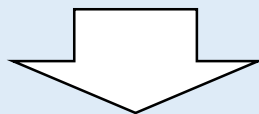
切り取らずにこのままFAXしてください

【9月24日一般参加申込書】 申込締切 9/11

◎下記にご記入の上、FAXでお申込ください。

◎会場の都合上、定員に達した場合お断りさせて頂く場合がございます。あらかじめご了承下さい。

参加者氏名	所属(勤務先等)	電話番号 (FAX番号)
		電話： — FAX： —
		電話： — FAX： —



京都地域密着型サービス事業所協議会事務局行き

FAX 075-354-8770